

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票(再評価)

											評価機関名:九州農政局	
都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況				具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見
						目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数 令和3年1月1日時点	目標年の総蜂群数 令和5年1月1日時点	2年目の総蜂群数 令和6年1月1日時点	達成率		
長崎県	県内全域	長崎県養蜂振興協議会	養蜂	令和3年度	事業実施地域における令和5年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和3年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,267群	1,230群	1,164群	1,846群	1664.9%達成	・植栽検討会議:15名 ・蜜源植物の植栽:約19.93ha(なたね、レンゲ、クロガネモチ、ビービーツリー、ラベンダー)	蜜蜂に対するダニ被害の拡大により成果目標未達成となっていたが、長崎県養蜂協会が主体となり蜂群数が減少した地域の養蜂家に対して、ダニ対策の指導を直接行ったことにより被害が減少し、蜂群数の回復と増加につながった。 また、改善計画の実施により、蜜源植物の保護・増殖が重要であることが長崎県養蜂協会をはじめとする関係者の間で再認識されたことで、各地域において継続的な植栽活動が行われた結果、蜂群数の大幅な増加につながった。 飼育蜂群数は目標を達成しており、改善計画に基づく対策の成果があったと考えられる。

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票

										評価機関名：九州農政局	
都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見
						目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数 令和4年1月1日時点	目標年の総蜂群数 令和6年1月1日時点	達成率		
長崎県	県内全域	長崎県養蜂振興協議会	養蜂	令和4年度	事業実施地域における令和6年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和4年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	993群	964群	1,770群	2779.3% 達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：約5.5801ha (なたね、レンゲ、ひまわり、ソバ、サカキ)	飼育蜂群数は目標を達成しており、計画通りの事業成果があったと考えられる。
熊本県	県内全域	熊本県養蜂等振興強化推進協議会	養蜂	令和4年度	令和6年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和4年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ5%増加	6,793群	6,469群	6,789群	98.8% 達成	・植栽検討会議の開催：3回 ・蜜源植物の植栽：83.24ha (レンゲ、ナタネ、ヘアリーベッチ、クロガネモチ、シマトネリコ、ヤマハゼ、サカキ、ソヨゴ、エゴノキ、リョウブ、ヒメシャラ)	飼育蜂群数はおおむね目標を達成しており、計画通りの事業成果があったと考えられる。
熊本県	八代市域	鶴喰なの花村みつばち協議会	養蜂	令和4年度	令和6年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和4年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,046群	1,015群	1,046群	100.0% 達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：0.34ha (ヒマワリ、梅)	飼育群数は目標を達成しており、計画通りの事業成果があったと考えられる。
大分県	県内全域	大分県養蜂等振興強化推進協議会	養蜂	令和4年度	令和6年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和4年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,133群	1,100群	1,109群	27.3% 未達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：14.8ha (レンゲ、モチノキ)	計画的な蜜源の増殖により蜂群配置調整の適正化が図られたことで、基準年から9群の増群につながった。一方、事業に取り組んでいた養蜂家のうち、40群飼養していた養蜂家が健康上の理由から廃業し、飼養していた蜂群及び蜜源は地域の養蜂家が引き継いだものの、減少した蜂群の回復には至らず成果目標は未達成となった。 今後は、県や養蜂組合を中心に技術指導等を行い安定的な養蜂経営を続けつつ、蜜源の有効活用を図り蜂群の回復及び増群に努めることとしている。 事業実施主体に対しては、改善計画の提出を求めることとする。

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票

										評価機関名：九州農政局	
都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見
						目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数 令和4年1月1日時点	目標年の総蜂群数 令和6年1月1日時点	達成率		
宮崎県	県内全域	宮崎県養蜂等振興推進協議会	養蜂	令和4年度	2024年1月1日現在の飼養蜂群数が、2022年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	5,311群	5,156群	5,032群	-80.0% 未達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：3.2ha (ユリノキ、クロガネモチ)	計画的に事業は実施され、新規で飼育を開始する養蜂家もいる一方、既存の養蜂家の高齢化や後継者不足の影響による離農に加え、大規模養蜂家の廃業も重なったことにより飼養蜂群数が減少した。 さらに、近年ではダニやスズメバチによる蜜蜂被害が拡大したことで、飼養蜂群数が減少した養蜂家もいたため、基準年の蜂群数を下回る結果となったと考えられる。 蜂群数が減少したことから、県や養蜂組合を中心に経営指導等を行い安定的な養蜂経営を続けつつ、ダニやスズメバチの対策を図り事業効果の最大化を求め、蜂群数の回復に努めることとしている。 事業実施主体に対しては、改善計画の提出を求めることとする。
鹿児島県	県内全域	鹿児島県養蜂振興推進協議会	養蜂	令和4年度	2024年1月1日現在の飼養蜂群数が、2022年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	7,361群	7,147群	6,981群	-77.6% 未達成	・植栽検討会議の開催：3回 ・蜜源植物の植栽：0.603ha (ヤブツバキ、クロガネモチ、ネズミモチ、ヒメリンシャンバイ、ビーベーツリー、ケンボナシ、キンポウジュ)	計画的な事業の実施により蜜源植物の増殖が図られたことで、蜂群の確保・育成が進み、採蜜及び花粉交配用の蜂群が安定的に供給された。 一方、事業を活用して蜜源の確保に取り組んでいるが、事業に取り組む養蜂家において、一部の若手養蜂家の蜂群数は増加傾向にあるものの、労働力不足や高齢化、経営者の死亡等による減群や経営停止等により飼養蜂群数が減少した影響が大きく、基準年の蜂群数を下回る結果となったと考えられる。 今後も、県や養蜂協会を中心に経営指導等を行い安定的な養蜂経営を続けつつ、蜜源の有効活用を図り事業効果の最大化を求め、蜂群数の回復に努めることとしている。 事業実施主体に対しては、改善計画の提出を求めることとする。